THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷　第十六號

毎週金曜日發行

大正四年四月十四日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□公娼廢止と本誌……小橋三四子
□時事週評……
□一人一評　大隈綾子……
□花見風俗……
一陽氣の極……幸田露伴
▽名所の花競べ……目賀田逸子
□子供の智慧……
□無駄の多い日本の會……下田次郎
□店頭より「山の手と下町の娘」……靜美堂主人
□名士と其母(六)山川帝大總長……
□我が「婦人會」の現況……
□子供の描く繪……田中芳子
□簡單な珍味の考案……薄田斬雲
□田舍の臺所から……くれは子
□今週の惣菜……櫻井ちか子
□世界史お伽譚「アスパラガスの報恩」……
□名女傳「ブラウニング夫人」……報子
短歌「きみ」……安井花子
□小說「何處へゆく」……松本雲舟
□時事……個人消息……編輯室より……

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

▲ダリヤは現世花界の寵兒なり!!

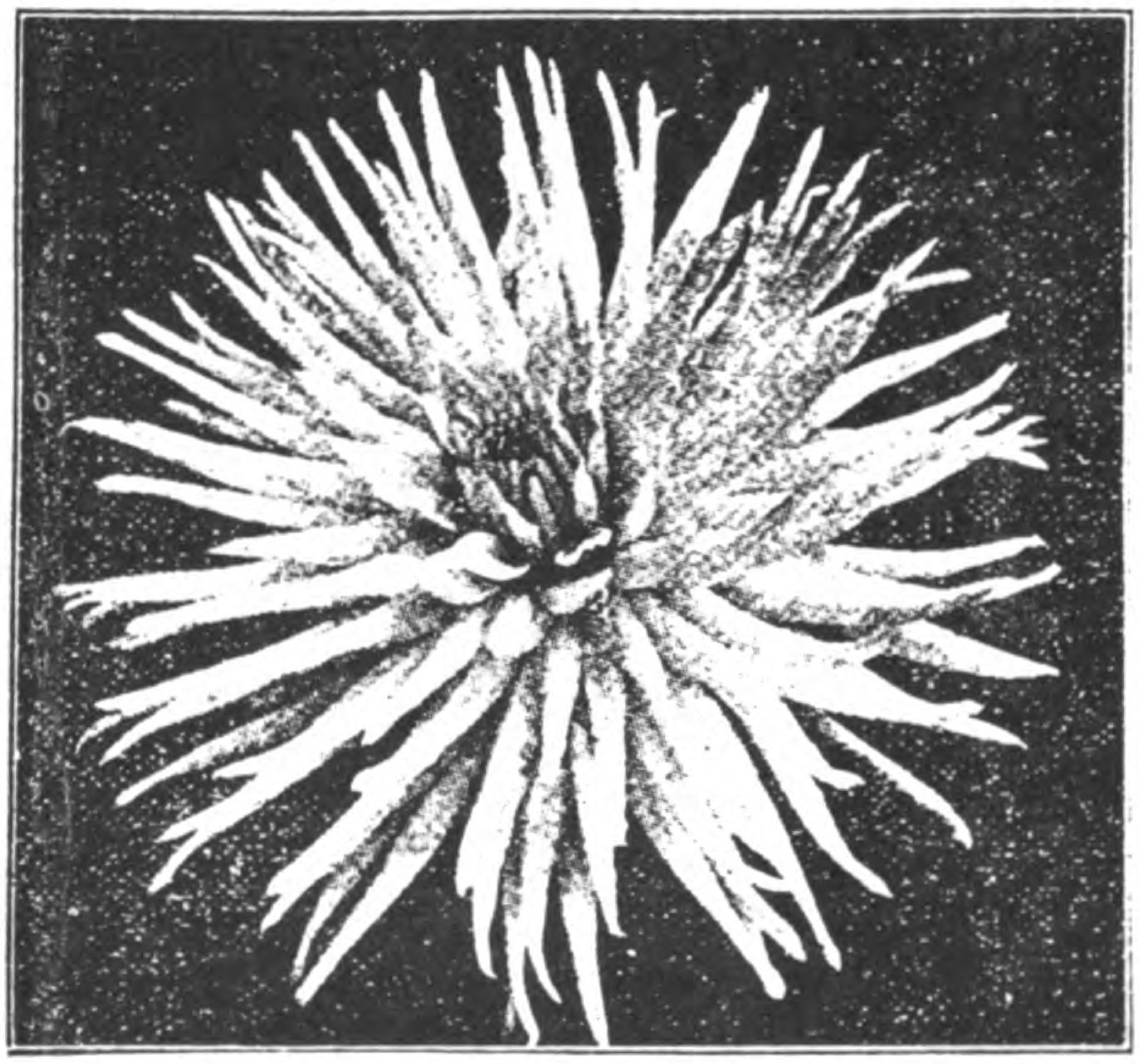
○一般園藝植物培養

貸鉢 鉢植。切花。

花束。花環。盛花。

○一般花卉裝飾調進

▲花卉園藝は最も向上せる娯樂!!



每歳新種名花を直輸入す

新裝**カタログ**御申越次第進呈

東京市外高田村(目白驛北一丁)

富春園

振替(東京)三〇七二一番

花卉種子、球根直輸入販賣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公娼廢止と本誌

□

過る四日より三日間、横濱にて開催せられたる婦人矯風會第廿四回大會に於ては、昨年御大典記念運動として開始せられたる向ふ六年間に公娼全廢を期することにつき、其の實行方法が協議されました。先づ一ヶ年金五錢を廣く賛助者より募り、一方に運動費を作ると同時に、其の趣意を成る可く多くの人に知らしむる方針を取り、來る四月廿四日「日本の日」として世界の婦人矯風會が祝意を表する矢島老會頭の誕辰に當り、全國支部は一齊に其の實行に着手し始めるさうです。

□

公娼廢止の運動は、婦人矯風會が發起したからとて、これを同會員にのみ任せて置いて可なる問題ではあるまいと思はれます。苟も日本婦人として、否日本國民として、其の同胞の名譽を重んじ自由を尊ぶ者は、廿世記の白奴隷として、世界の侮蔑を招いで居る公娼の制度に就て一考しなくてはなりますまい。世界何れの國に於ても、人間の住ふ限り、罪惡の消えぬ限りは醜業の營まれて居るを見れば、日本の公娼制度は寧ろ國民衞生上、賢い方法であると、識者と仰ぐ人の口からさへ往々聞くことのあるのを見て、いかに日本人が、この一事に痲痺して居るかを思はせます。

□

公娼を廢止した曉には、私娼は一層甚だしくなり、其の害毒の及ぶ所は底止する事が出來ないであらうとの杞憂は、公娼廢止運動に反對する無上の辯護の如くして、實は全然無關係なる言葉であります。淺間しい人間の性が、パンの如くに永久に醜業を要求しやうとも、同じ人間の女性を、多々益々店頭に並べて、之れを鬻ぐ事が許されませうか。僅かな端下金で買はれて居る彼れ等醜業婦等は、其の境涯を耻ぢとも慘めとも思ず、況して人道に外れて居るとも考へないかも知れませんが、彼れ等の無智を利用して、之れを賣買せんとする奴隸制度を限りなく憎むべき事に思ふのであります。

□

たとへ私娼の害毒に溺れて、國民が滅亡しやうとも、それは「身から出た錆」で、彼れ等が自ら撰んだ悲運であります。之れを救ふには公娼のやうな皮相な社會制度でなく、もつと人間の性に深く觸れて廓淸せしむるに足る根治方法がありませう。その方法を講究せずして何時迄も放恣な人性を盾に取つて公娼を主張せんとする者は、長く國家に忌はしい奴隸制度を止めんとする不義不忠の者であります。

□

一廓の内に運ばれ、全く自由を奪はれて、醜業を營ましめらるゝ女には、云ふべき言葉も、書くべき文字も知らず、まして考ふべき術をも心得ぬかも知れませぬ。私共はこれも我が姉妹の一人と思へば、痛切な同情は、無告の姉妹に代つて、何等かの訴へを世にしないでは居られま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せん。「我れに自由を與へよ、然らざれば死を與へよ」と、廿世紀の、奴隸は、昔の奴隸と同じく世に向つて哀願して止まぬのであります。この聲の聞ゆる同志は等しく起つて其の手械、足械を解くに、一臂の力を貸したいものであります。

□

幸ひにして婦人矯風會は公娼廢止の運動を發起しました。同會を知ると知らざるとを問はず、只公娼廢止の如何に急務であるかを眞正面に見て、この運動に加はり、其の費用中に、寄附する金五錢は少額なりとも、赤心を投じて、この擧を應援致したいものです。本誌は取り敢へず五百口（一口金五錢）を引請けて、愛讀者を初め、世の有志からの同情を取次ぎたいと存じます。然しもし我が國諸種の婦人會が、私心を遠ざけ、偏見を去つて、この擧を賛助され、速やかに奴隸解放の實を擧げられたならば、いかに壯絶快絶の極でありませう。（三四子）

——（有志の方は直ちに一口金五錢を本社に宛御送り下さい）——

時事週評

▲袁氏愈窮す

革命軍根據地たる廣東獨立のために、袁氏も遂に窮したやうです。南方支那の獨立を承認したといふやうな電報や、北京にある英字新聞も亦袁氏を見限つたといふやうな電報が來てゐます。袁氏も遂に憐れな最後を遂げさうに思はれます。唯政略と詐術で人の國を奪はんとした袁氏の運命はさもあるべきことでせう。由來血を流さずして、革命のなつた例は世界に一度もありません。若し袁氏にして眞に支那の帝王たらんとせば、有らゆる反對黨を虐殺して其の國を滅するの覺悟がなければならぬ筈です。併し袁氏には之れほど血を流す實力も全力もないのですから、帝王たらんとするは初めから無理な話です。平和なる政策を選らば、支那を統一して第一期の大總統となつた丈けで滿足し、功成り名遂げて身退くの覺悟がなければならぬ筈です。あゝ袁氏は二つながらこれを失ふ。小人と申さねばなりません。

▲鳥人スミスの冒險

飛行家スミスが十日の暴風にもその豫定を變更せずに、青山原頭黃塵濛々たる中を飛翔して、宙返りの妙技を演じたといふのは唯々驚嘆するの外ありません。日本の飛行界は勿論、姑息に陥り易い日本人の心に大なる刺激を與へてくれた丈けでも感謝の至りです。自信力さへあれば何人でも出來るとスミス自身語つて居ります。吾等に古くして常に新らしい格言をスミスが航空に於

二

て體現したのを見て、自から心の奮起するを禁じえませぬ。之れに對して日本の飛行界が幼稚だと嘆息するものがありますが、幼稚なのは日本の飛行界ばかりではありません。

▲奢侈品の禁輸

英國が日本から輸入される奢侈品を禁輸したので問題になつてゐますが、獨逸でも亦奢侈品禁輸の發表をいたしました。それは當然の事と思はれます。日本でも物價騰貴の今日、奢侈品の外國から輸入せられるのを禁止したらどうでせう。一昨年舶來品の使用を抑へるやうな運動がありましたが、何等の好果もなく煙になつてしまひました。英獨が奢侈品禁輸をした今日、日本でもさういふ禁止が政府の手に依つてやられることを望みます。日本のやうな貧乏國では、奢侈品輸入は永久に禁じても善い位のものです、舶來品禁止の運動が、井上侯薨去と共に葬られてしまつたのは笑止な事です。英國の自由貿易主義は今回の奢侈品禁輸を見ても事實上破れてしまつたのです。日本でもかういふ事に政府の力を用ゆる必要がありませう。

▲各政黨領袖の遊説

政友會總裁原敬氏も又現内閣二三の大臣も九州に遊説に出かけました。原氏は先づ大分で演説をしてゐます。その演説の内容を見ると、いつも御定りの文句だけで、何處に偉大なる經綸が含まれてゐるのか、一寸解りません。爲政者も反對黨も實に其の政策の内容の貧弱なのが、日本の政界の弊風ではないでせうか。堂々數萬言の論理的な經綸を聽くことの出來ぬのは、いかにも困つた次第です。あゝ大政治家出でよ。この嘆息にたへませぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(一人一評)

大隈綾子

一

果して大隈伯が大政治家であるかは、こゝに語る必要もあるまいと思ふ。併し此の老偉人が第一流のサイノロジストであると云ふことを逸してはならぬ。不斷に吾等は偉大なるサイノロジストとしての大隈伯を觀察することに興味を感ずると共に、又少からぬ敎訓にも接してをるものである。

往々にして――何某氏は第二の妻を迎へてからと云ふものは、その生活を全然改めて、殆んど別人のやうになつたと云ふやうな批評を耳にすることが少くない。この生活の變ると云ふことが善い意味に於いてゞあるか、或は惡い意味に於いてゞあるかは、暫く問ふことを須ひぬ。妻なるものを『家庭の女皇』なりと主張する吾等は、こゝに新妻を迎へた爲に、その生活に何等かの變化を見るのは。決して紳士に恥づべきことでないと思ふ。この見地に立つて、吾等は偉大なるサイノロジストとしての大隈伯に敬意を表するものである。

二

あの大阪へ、京都に、大隈伯の旅行と云へば、從者、隨員の夥しく、恰も大名旅行を彷彿せしめるのである。が、大隈伯の至る處、殆んど令夫人綾子の在らぬことはない。否な、或時は大隈伯の旅行も、この綾子夫人の微恙の爲に中止せられるやうなこともあると云ふ。第卅七議會の疲勞を慰むべく、老宰相の國府津行の傳へられながらも容易に豫定の通り出發しなかつたのは、全く伯爵夫人の臥床中であつた爲に外ならぬのである。

この大隈伯に綾子夫人の隨伴すると云ふことは、勿論、老宰相の肉體が不自由なるが爲であらう――と解釋するならば その一を知つて二を推し得ぬものである。老宰相の起居に不自由を感せしめない位の忠實な左右はあつても、精神的に愉快を與へる源泉としては、この老偉人を能く諒解してをる綾子夫人を外にして、又適材がないと云ふも、或は誣妄の辭ではあるまい。

それ故に――大隈伯の百廿五歳說も、若し此の綾子夫人が老伯に先立つやうなことがあれば、或は其の翌日を以て取消されると共に、老偉人も世を早くするか分らぬとさへ考へられるのである。

三

かく大隈伯が綾子夫人に傾倒するも、決して無理からぬことである。何故なれば維新草創の際に、木戸、伊藤、山縣などと云ふ人々達が狹斜の巷より爭うて其の令室を迎へた時に、敢然として時流(?)を斥けて、當年卅有二歲であつた大隈參議のみは、由緒正しい幕臣三枝守富の令姉綾子を正式に迎へて室とした――繼女房であるからである。

この綾子夫人は大隈伯を今日あらしめた一人である――爆彈に隻脚を失うた時毅然として切斷を諾し、つゆ程も取亂した樣子のなかつたとは今も猶は綾子夫人を知るもの、歎美し敬服する處である。が、其氣性と同情とは軈て大隈伯を愉快ならしめると共に又偉大なるサイノロジストたらしむる所以でもあらう(冬湖學人)

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花見風俗

今を盛りの戸外の行樂に
人よ快く遊ぶ道を探せよ

陽氣の極

文學博士　幸田露伴

△風俗の發露する時

花見の風俗と申しましても、一般風俗の地盤の上に出來て居ることでありますから、此の一つだけを引き放して、可否を論じても甲斐はありません。而し花見は丁度浮き立つ春の氣節に戸外でやる行樂でして、陽氣の極點と云つてもよく、秋冬は室内に籠つて、燈火の下火桶の傍に居る時で、沈んだ心の頂上、陰の極點です。ものは極所に達すると、平常の狀態が一層明瞭に出て來るもので、花見の時、冬籠の時は風俗の二極を明かに示しますから、弊害も善い所も殊に目立つて知れるのです。

△江戸の花見風俗

一體日本人の性質中に、根ざした風俗はさう惡い方では無いだらうと思ひます。花見の如きも、東京と京阪の方とでは、多少の相異もありまして、一概には論ずる事は出來ませんが、然し凡そ似よつたもので、平常は柔順しい、優美な、内氣な日本人が、陽發した部分を示すのみで無邪氣で活發で、詩歌的の情緒をともなつて居るよい風俗です。但し徳川氏の時分から、社會の一面には嚴肅で禮儀的で柔か味の少ない、一口に云へばぎごわな武士道的の事が尊重されまた其の反動で陽氣な春の花の咲く時分は、恁云ふ手械足械、頸械を外して、自由の天地に平和の樂しい空氣を吸はうとする爲め、自然と爆發的に戯れ、笑ひ、踊り、狂ふ樣な狀態が、引き續き起されます故、元祿の

四

昔でさへ「なにごとぞ花見る人の長がたな」等と云つた者も有つた位で、隨分放恣の狀態さへ表はれて來て居ります。徳川氏が末になるに從ひ風俗は弛み、社會の嚴肅な部分は唯外面的に勢力を保つやうになり、幕末に至つては江戸の花見風俗の如きは、隨分宜しく無い傾向を示しましたから、當時の小說等には漸々妙齢の婦人が暴漢の爲めに、なやまされた樣な事が書かれて居ります。又奢侈の風も烈しくなりました爲め、町人が其の富を衒ひ、其の意氣を示さんとして、分に過ぎた趣向を立て、花見を機會に遊んだ事も見えて居ります。

△明治の半ば頃迄

殊に花に酒と云ふ事が古から、多くの人の頭にもあり、又日本酒は酒の性質が溫和ではありますが、飲む事を連續させるに適した酒で、醉をも持續させますから、これが手傳つて善く無い事が起ります。又花見時には目鬘を路傍で賣りますから、これを掛けると人の容姿もわからぬ（鼻より上、半面をかくす）故、是を利用して酒に乘じて惡戯をする事も澤山

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありました。斯く花の下で四斗樽の鏡を拔き、紙の面をかぶつた事も明治の半頃まで續きました。

△年中のいき拔き

元より花見は一年に僅かな日より無い事ではありますし、暖かな蒸す樣の時節に乘じて、人家の建込んだ中に這入つて居た人々が、一年のいき拔きの樣の氣分で樂しむのですから、少々の戯れ或は茶番めいた趣向をして遊ぶ位は許してもよいが、圖に乘つて、狂ひ、酒がこれを助くると、風俗上取り締らなければならない用が起つて、一時は政府でやかましく干渉した結果として、かゝる惡戯をするものも減じ、又一般教育の進歩によつて公園や路傍で大醉する事は遠慮すべき事の樣に考へて來たものですから、今日は廿年前よりも大層よくなりました。

△花と酒

今日位の狀態ならば、政府も餘りに干渉するには當りますまいが、唯花見風俗の中で困りますのは、酒です。然し「酒なくて何のおのれが櫻なか」で、酒と花との關係は中々打ち切る事は出來ません又花の下に酒を飲むと云ふ事も、其れだけならば、惡い事はないが神系中樞が痲痺する爲めに、大醉した人は尾籠の事をしたりするのです。又花見人の便宜を圖つて飲食物を供給するものが多過ぎ、又一方には、屋外に遊べば必らず飲食すべきもの丶如く思ふの惡風がありまして、花見に行つて酒一つ飲まない樣では「犬の川ばた」等と云つて、嬉ばぬ風があります爲め、稍もすれば無教育人の側には厭ふべき有樣を出す事があります。然し公徳も進み、他人をして迷惑を感せしむるはよく無いと云ふことが一般人にあるので、左程の弊害がなくなりました。けれども花見の歸途に、醉に乘じ、勢に乘にて、惡い方面に行く事は今も尚ほある事で、花見が誘惑の原因を作るは、德川時代の小説が示したまゝを、今日も示して居るのは、如何とも爲し難いが、前述の如く一般風俗の地盤がよくなれば、自然に弊風も除かれて行く事であらうと思ひます。

名所の花競べ

男爵夫人　目賀田逸子

△箱根の山櫻と嵐山

私のお花見は腰辨當に裾からげで、名の有る所も無い所も至る所を探ね巡りました。忘られないのは箱根の山櫻です。小涌谷の邊り雜木の間から、赤い小さい花をつけた櫻が、此處にも春があると知らせ顔に咲いて居るのは、いかにも閑雅なものです。嵐山の山櫻は紅がゝつた葉をつけた大輪の一重で、赤松の間からすんなりとやさしく咲いて居るのも、名に負ふ價値は充分にあります。

△吉野の花祭り

吉野山は杉がボオボオとある間から、下の千本、中の千本、上の千本と、棚曳く霞のやうに咲いて居ります。「吉野山霞の奥は知らねども、見ゆる限りは櫻なりけり」と申しますが、霞の奥には實際花は無いので割合に櫻の數は少い。私が宿をとつた亭主が頻りに吉野の自慢を云ふので、「外を知らないからさう云ふが、此

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處は思つたより花が少い」と云ふと「それでも種類の多い事にかけては、東京の博士さん方が驚きなはれます」と云つて怒つて居ましたつけ。然し私は丁度四月十二日十三日の山の花祭りに行き合せたので、面白さにとう〳〵二晩泊つてしまひました。祭りの前日お寺で餅搗きがあるのです。二た抱えもある蒸籠の餅米がふけると、大きい臼にあけ、ドンと太鼓を合圖に里方の百姓共が各自に長い棒を擔いでやつて來る。皆なこの棒を杵にして音頭を取りながら搗く、搗き終ると、澁つた麻の布を肩にかけた人が、これを擔いで本堂に行き、其處では小さく千切つてお供へを拵らへます。かうして祭の日には座王堂の前で投げ餅をする、近在の老若男女は爭つてお詣りをしてその餅を拾つて、お呪にするのだと云つて大事さうに頂いて行くのです。いかにも太平な風俗です。

△小金井の花

花の種類も多く、眺望の美しいのは五色櫻と云ひますが、眞白やほんのりさ櫻色をしたの、鬱金、鬱金と黄どの間の色墨染めとて黒ずんで居る程の紅色やほんとうに澤山の種類があり、一抱へも二抱へもあるやうな古木が充分に枝を擴げて咲いて居ります。眞盛りの頃は花の隧道の下に、清く澄んだ玉川の水源が、銀線のやうに流れて居る間に、富岳を遙かに望む景色は何とも云へません。向島から荒川の奥にもよい櫻がありますが、ぽつてりさして、人ならば介孃です。小金井は寧ろ意氣で瀟洒活潑な趣きのある人柄を思はせます。

△市中の櫻

東京市中の櫻は手を擴げたやうに繁殖して居るのみで、何の面白味もありません。お花見と云へば只飮んだり食べたり騒いだりする事のやうに思つて居る人が群集して居る處は、つまりません。花の下に座を占めて、持參の辨當をひろげ、ゆる〳〵玩賞しなくては、お花見の甲斐がないやうに思はれます。

六

子供の智慧

□パパ飴ちよこあげやう

徹さん(五才)は兄さん達の洋服や靴が羨ましくて、そつと行つては觸つて見たり、穿いて見たりして居ります。餘りいぢらしいので徹さんにも洋服と靴を買つてやることになりました。父さんは夕飯後銀座の街に拵らへに行くと申しながら、食事して終うと「疲れて行くのが嫌になつた」と申しました。傍に居た徹さんは大層心配さうに、「パヽ飴ちよこ一つあげやう」とすり寄つて大きい掌に飴を一つのせました。

□天子樣は金を召上る

正ちやん(四才)は金が大變好きで、母さんの金の指輪でも見付け次第欲めたがるのです。而て天皇皇后兩陛下の御肖像の額を熟々見て居ましたが「天子樣は金を召し上つていらつしやるか知ら」と申しました。

—(投書を歡迎します)—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無駄の多い日本の會

東京女子高等師範學校教授　下田次郎

△尙經驗淺し

一體組織的に大勢の者が一緒になつて活動すると云ふ事は、日本では先づ明治以後西洋の遣り方を見習つて起つたもので、從つて未だ十分會による組織活動が出來てゐない。男子の會でも隨分時間、勞力、金錢を費して、其割に効果の顯はれないものが尠くない樣である。從來什うも日本人は組織的能力が缺けてゐる樣に見える。其組織的頭腦を以て良く活動するものは獨逸であらうと思ふ。即ち會に少しも無駄が無く、實質的であつて、効果を收める事の出來るのは、全く善く組織が出來て居り、組織によつて活動するからであると思ふ。

△正味に費はる丶金

之れに反して日本の會は、無駄が多く種々な會員の種類を別けて、それを區別して表彰する爲めメダルを贈つたり、褒賞の紙を與へたり、會員の札をかけさせたり、又種々の事務手數の爲めに多くの金と勞力とを費つて、正味に費はる丶金圓は尠ないと云ふ樣な大きな會が隨分ある如うである。婦人の會となると、大きなものは矢張り中心には男子が居つて働くので、婦人は多くは名を列するか、男子の指圖の下に働くに過ぎない。隨つて全く婦人ばかりの手で活動してゐる會は少數で、有つても規模は小さい。其中で婦人矯風會の如きは、よく組織が立ち、種々の部門に別れて、婦人が中心となつて活動して居る樣である。また大きな名をつけた婦人の會などもあつて、澤山の會費を會員から取つて居り乍ら、其實社會的に何等の働きをせない會もある。

△も一層頭腦が出來れば

兎に角、婦人の會は澤山あるが、又隨分知名の婦人の會員を有つてゐるが、其割には餘り活動してゐない樣に思ふ。また多數の婦人は教育と云つても高等女學校以上には出でないので、充分に頭が出來てゐないし、學術技能も左程優れてもゐないと云ふ樣な事で、會を組織的に甘く活用する事が出來ない如うである。それで今後中等以上の教育が婦人に一層多く行はれ、頭が出來れば、婦人の會の見るべきものがある樣になるであらう。

△感情で調和を破る

七

婦人の會は、男子と異つて餘程感情的で、會員相互の調和が六ケ敷い、中には他人と一緒にやるのが嫌ひで、自分が頭に立つて人を使へば働くが、他人と一樣に置かれては働かぬと云ふ婦人もあるし、其家柄、夫の位置、其人の履歴等に依つて必要もない區別をしたり、して、會員の調和が六ケ敷く、意見もまち〳〵で纒りの悪い樣な事もあると云ふ事であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。其點になると、男子は隨分意見が異つて喧嘩などもする事があるが、さつぱりして居るから、其爲めに感情を害し、會の平和を亂す樣な事は少ない。

△會員たるの實

それで婦人の會には、外から見ると立派な樣でも、隨分黨派があつて、互に對峙して詰らぬ所に意を立て、對抗したりする事があると云ふ。これ等も學校生活をして社會化されゝば、餘程よくなる事であらうと思ふ。つまり狹量で人を寛恕すると云ふ事に乏しいと兎角會がよく調和してゆかぬ事になる。であるから、修養を怠らず、眼界を弘くして、廣く世界を見て、公平に判斷し、眞底から打解けて互に會員たるの實を擧む事が望ましい事である。

△有効の働らきを俟つ

然し、之れは從來の習慣もある事であるから、急に改める事は難かしい事かも知れないが、追々改めて行かなくてはならぬと思ふのである。然しとにかく、年を追ふて婦人の會の創立さるゝもの多くそれ〳〵結構な目的の爲めに努める樣になつた事は、眞に目出度い事である。此上は會を組織的にし感情に走らず、公平に判斷し、互に調和して有効に會を働かさん事を望むのである。

店頭より

山の手と下町の娘

靜美堂主人

□山の手と下町は地勢に於て高丘と平地との差あるが如くに、其生活狀態にも確かに貴族生活と平民生活ほどの差別はある。山の手にも其日暮しの窮迫な慘な生活がある樣に、下町にも貴族的な風雅な生活がないでもない、が然しさう云ふ例外は別として、一般的に觀察した處には全く別天地の樣な感がある。云はゞ智識生活と利殖生活（商人生活）と區別する方が遙かに明瞭である。例へば日常の生活に就いても、山の手の家庭では日々の食糧品を買ひ出しに行く事は極めて稀れで、多くは日々の御用聞きに依り用を便ずる、之に反して下町の生活は自ら進んで買物の選擇に出ると云ふ風習がある。何れが經濟的で而かも良品を得らるゝかは今更言ふまでもない。

□扮飾も山の手の娘には突飛な思ひ切つた所謂ハイカラが多い、頭飾にしても束髮の簪の斬新な大形の物は山の手向きである。總じて下町の娘に陰鬱で不活潑であるが、山の手の娘は明く快活である。其にで内部的には山の手の娘の方が遙かに初々しい處が多い丁度下町を三味線や琴が其代表者とすれば、山の手はヴイオリン、ピアノが其氣分を表はしてゐる。

八

□次に實社會に對する優劣を見るとかう云ふ矛盾があると思ふ。尤も進歩した、社會の先驅者となるべき智識階級にある山の手の娘は反つて實社會に疎く、恰も夢の樣な生活を送つてゐる。下町の娘は日用品、食料品などに關しても實際の經驗を踏んで、其方面にに可成な智識を有して、主婦の代理をなし、惣菜などを料理する法を心得て居る。山の手の娘は、買物をする場合に當然知つて居るべき價格に對しても無智である。さうして高いものは必ず優良なものと定めて居るらしい。例へば割合に廉價で、而かも品質の優良な化粧品を買はないで、無理にも高價な化粧品を買はねばならない樣に育てられて居る。兎に角俚言に唱はるゝ「米のなる木をまだ知らぬ」と云ふ人生味を知らぬ者が多い。

□さりながら私は下町の娘に對する讃美者でもない、彼等にに何處となく野卑な處がある、どうかすると細帶のまゝ外出する事さへ往々見受ける。束髮は山の手の女を象表するとすれば下町の女は純日本髮の島田、桃割れ、銀杏返しである。山の手の女には、あまり多くの島田桃割れ等の日本髮所有者は認めないが下町の娘には束髮を結つて居るものが多い。其れには手數がかゝらぬと云ふ事が一つの原因であらうが、また彼れ等の中女學校に通つて居るので結へないと云ふ事情もある。而しそれが正月とか云ふ特別な時になると、殘らず島田に結び變へるのは、下町にのみ見る現象である。さうしてさう云ふ場合は島田に結ふ事が娘の誇であり、盛裝であるかの如く心得て、どうかすると一種の職業的女の嬌態さへ認める事がある。山の手と下町の生活狀態の空氣がかう云ふ場合には明瞭に區別される。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（六）

東京帝國大學總長 男爵 山川健次郎氏

自分の母の事をお話するのは、妙なことですが、お質問だから申しますと、母は唐衣と申し、私が七歳の時父が亡くなつた後、剃髪して勝聖院と號して居りました。會津藩の西郷十郎右衛門近登之と云ふ人の女で、二十歳の時、同じ會津藩士の私の父に嫁して、十二人の子供を儲けましたが、成人したのは七人で、私は其の三男です。

母は變つた事の嫌ひな性質で、平凡な事を眞面目にやつてゐた女でした。唯母の父近登之が可成り和歌をよくしたので母も和歌は大いに嗜んで居りました。

天か下に轟く名をばあげずとも
おくれなとりそもの丶ふの道

とは兄浩（故陸軍少將）が京都に旅立つを送つて詠んだもので、またある人の依賴心を戒めた句に

なか／＼に人は人をもたのむかな
ひを蟲だにも身をたのむ世に

など云ふのがありました。

進歩的な思想をもつてゐた譯ではなかつたが、子供の教育には熱心でしたから女の子にも學問をさせたのだと思ひます。（記者曰く、令妹捨松子の君（今の大山公爵夫人）が、津田梅子女史と共に我國最初の女子留學生であつた事、亦令姉二葉子の君が女子高等師範學校生徒監たりし、更に令妹みさを子の君の宮内省權掌侍たりし事などより、母堂が如何に息女の教育に心を用ひられしかを知られませう）早く夫を失ひ七人の子供を一手で養育したのですから、隨分苦勞はあつたらうと思はれます。殊に會津籠城當時などは—私は白虎隊に加はつてゐたが—幼い妹達をかゝへた母の苦心は一方でなかつたらうと察せられます。

吾々を育てるに特殊な事をいたしませんでしたが、冬の夜などは兄弟や召使の若き男女を集めて、大閤記、信長記などの軍記物や、信洞水滸傳と云ふ面白い爲めになる小說を、毎晩二時間位宛讀んで聞かせてくれた事などは懷しい思出です。何れの親も同じ事、深く吾々を愛してくれましたが、母には一方非常に嚴格な處があつて、道に背ける行に對しては容赦なくこれを戒めました。

あの頃、士族の妻は懷劍を帶びてゐたが、其袋は劍の丈より長く、折返して紐で縛る樣になつてゐました。が、母の懷劍の袋は、丈だけの長さ—丁度煙管の袋の樣なもの—でしたから、いざと云へば直ぐ拔ける樣になつてゐました。これは些細の事ですが母の平常の心掛けを幾分現はしてゐたと思ひます。

私共兄弟が東京に職を得てから、明治六年、母も上京して、兄の家に居たり、兄が地方勤めの時は私と共に暮して居りましたが、私共が成人してからは母は何事にも關涉せず、好きな歌の道を勵んで餘生を送りました。明治廿二年、七十三歲で長逝する前に、歌ひ殘したのは次の一首でした。

我ながらなに丶名殘のをしむらん
おもひおくべきこともなき世に

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我が「婦人會」の現況

年度代りの昨今新に營まるゝ計畫如何

△愛國婦人會

閑院宮妃殿下を總裁に仰ぎ、伯爵母堂阿部篤子を會長とし、男爵夫人濱尾作子の副會長たる同會は九十一萬の會員と基本金三百萬圓を有する我國第一の婦人會であります。各地方に五十の支部あり、府縣知事其他行政長官の夫人が支部長を勤め、其良人は顧問として會務を助けてゐます。同會の目的は戰死者の遺族癈兵等の救護にありますので、毎年廿萬圓内外の金を其爲めに支出して居ります。

△救助の方法　其は定期救護と申し、約十萬人の遺族癈兵の中其生活程度を取調べて、一年卅六圓以下を支給します。此の現金支給が大部分を占めて居りますが地方によると、機織器や漁網等を買つて與へ生計を立たせる樣に努めて居ります。又明治四十二年創立された。

△教養所　に集容されて現在幼年學校に入學してゐるものが十五名あり、其他體格や學業等の成績が惡い爲め幼年學校へ入れぬものが多數あり、此四月に新たに入所せる廿名を加へて現在教養されつゝある戰死者遺族は九十六名に達して居ります。

△授產所　は東京、大阪、秋田等の支部に置かれてありますが、大阪を除いては其成績は餘り見るべきものがありません。東京支部の授產所では約廿五六名の癈兵の妻が足袋を作つて居ります。秋田では羽織紐を造つてゐるさうですが、何れも販賣其他に不便の事が出來て餘り成績が上らないのださうです。

△今春の總會　は皇后陛下の行啓を仰ぎ奉りて、五月二十三四日頃に開かれる豫定であると申します。

△日本赤十字社篤志看護婦人會

鍋島侯爵夫人榮子が會長で、小笠原伯夫人貞子及び東京府知事夫人井上鼎子副會長たり、總裁には閑院宮妃殿下を仰ぎ奉る同會は明治廿年五月創立で、會員一萬四千五百七十七人、基本金約五萬圓を有して居ります。一旦事有る場合には日本赤十字社の看護事業を援助するを其目的としますから毎月第一金曜日には赤十字社病院に於て繃帶製造、第三金曜日には看護學の口演や繃帶術の練習をいたして居り、其れに出席する會員も毎回六七十名はあるとの事です。支部は各府縣知事を支部長として四十八ヶ所あります。今年は總會は開かれないさうです。

△基督教婦人矯風會

現在の會員は三千五百餘名で、矢島楫子老女史が會長であります。去る四、五、六の三日間橫濱に開かれた大會には、今まで十五課に別れてゐた同會の働らきを家庭部、社交部、風俗部、法律部、教育部其他の八部に大別して各部に部長副部長を置き、全國支部が其各部に向つて働く事になりました。そして風俗部の仕事として昨年京都の大會に決議された「向ふ六ケ年を期し公娼を全癈する事」と云ふのを「大正十年を期して全國公娼廢止の法令を獲得すべき事」と云ふ意味に變更し、其爲め全國から十五名の委員を選んで今年から實行に取かゝる事となりました。今年中には赤坂新町に建てられる新事務所の設備費を全國會員感謝のうちに寄附する事。また少年禁酒軍の機關雜誌が本年正月から發刊されてゐたのを、大會席上で二十圓ばかりの寄附金が集まり、近く再興さるゝ事となりました。

△大日本婦人教育會

會員四百、毛利公母堂を會長とし大山公夫人高木男夫人小笠原子夫人山脇房子三井十一家の夫人等が其理事で、毎月一回第三土曜日に講師を聘して種々の講話を聽き會員の智識を進め其親交を計ると云ふのが其目的であります。來五月の第三土曜日頃に總會を開く豫定で四月の例會は休會するさうです。

△戊申倶樂部

毎月第二土曜日に一ツ橋共立女子職業學校に其例會が開かれ、各種の講談や餘興（講談琵琶等）があります。二條公爵夫人が會長で、鳩山春子、落悦孝子天野博士夫人等が評議員です。會員は重に上流社會の夫人令孃で百三十名程あるさうです。毎年四月は休會するとの事です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供の描く繪

性質や心理を知るに大切

工學博士夫人　田中芳子

△教育上の參考になる

幼い子供は好んで繪を描くものですが、其の繪にはよく性質やその時の心理狀態が寫つて居るもので、傍から注意して居りますと、餘程敎育上の參考にならうと存じます。宅には三男一女がありますが、繪らしいものを書き初めたのが、長男が二年半の時裏の目高だと云つて其の形を描き、娘が二年七ヶ月で日比谷の鴨だとて、稍それらしく見えるものを書きました。次男が二年九ヶ月、三男が二年八ヶ月で書き初めました。其の後絶えず書いて居りますが、到底これ等は皆保存し切れませんから、問題帳といふのを與へて、旅行や散歩をした時「此處を書いて御覽」とか、來客があつて特に靜かにして居つて貰ひ度い時「飛行機を書いて御覽」とか云つて問題を出して書かしたものを保存して置きますが、進歩の跡が見えて面白うございます。

△進歩に波瀾あり

勿論其の進歩は一筋には參りません。或る時は木の芽の延びるやうにずん／＼進みますが、また或る時は停止して少しも進まぬやうな、時によると退歩して居る場合もあります。この時は習字とか、數學とか外の學課が發達して居る時もあれば、また身體に異狀があつたり、或は稍々目が開きかけて來た爲め臆病になつて居つたりするやうに、種々理由がありますので、一槪にやかましく申さぬ方がよいと存じます。一體どの子供も尋常二年といふ級は一年に比して進歩が鈍くなると申しますが、繪も確かにその傾向がございます。これは眞實に進む階段として、臆病になるのが一番の原因でありませう。

△描いた繪の批評

兄妹四人で同樣の課題の下に書かした繪は、いつも比較して、「此處はかういふ見方をしなければ」とか「これは書き方が拙かつた」とか「誰れさんのは臆劫で粗末に書いたんではなかつたか」とか、「見方が纏らなかつたから、書き難かつたが、この次からはよく注意して御覽なさい」とか申して、出來榮えによつて、點數を付け、それを年齡によつて滿點を十八點といふやうに定めて、滿點に點數を准じて等級を定めてやります。

△女兒の繪

四人の中一人の女兒ですから、男兒との比較が殊に目立つて困ります。女兒のは一體に徐々とは進んで行きますが、進歩の階段がはつきり分らぬやうです。そして男兒が戰爭があるといへば直ぐ戰の繪を描き出し、課題をしても大膽な創造的なものを描くに反して、女兒はいつも相變らず花鳥や自分の周圍に近いものを取材にして居り、どうも構圖も模倣的なので、もつと開發してやり度いと氣を揉みますが、一代では出來兼ねる事かも知れまいと思はれます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡單な珍味の考案

余が養生法（續）

薄田斬雲

△日常の家庭向き

一陽來復、天地生氣滿ちて、人間の身體も急に元氣付きます。すこだま食つて飲んで居る間にソーマトーゼの膏抜の樣に肥つて見たい氣になります。世間には痩せたいと苦心して居る人も可なり多いそうですが、兎角は包容力の多い太つ腹の方が好いのです。そこで今日は何か肥りそうな御馳走を考へて見ます。

胃病者は饑飢病です、存分食ふ事が出來ない丈け、猶ほと何かうまいものを考へてせめてもの心遣りにするのです。私が今考へ出すのは煮たり燒いたり、いためたり、ころがしたりする、當節のハイカラな厄介な料理ではありません。一擧手で出來る新案が多いのです。

△蛤の叩きつくだ煮

第一には蛤のつくだ煮です。蛤貝は味の好いものですが、ともするとやられます、不消化だからです。齒で十分に咀嚼ないからです。

私は海岸に居る時蛤を俎板の上で薄刄で丁寧に叩き刻み、之を鍋に入れ唐辛に紫蘇など交せ、砂糖と醬油で味を付け、汁が無くなる迄煮詰めました、處が、貝類は血のある魚類と異つて滅多に焦げ付かず、世話なく煮詰りそしてくどい味がないので、つくだ煮類中で一番口當りが好いのです。叩き刻まずに煮ると堅くて食へませんが、叩くにも大して骨が折れず、之は私の發見した珍品です。秋歸京の際、四半斤入りの茶鑵へ一杯造つて來て、二週間ばかり毎日食つたが更らに飽きませんでし。但し東京の蛤は高價で且つ腐つたのが入つて居るからいけません。海岸地の知人へ注文して小包で送らせると安いものです

△胡麻醬油の泳ぎあへ

次は胡麻醬油です、白胡麻が奇麗です先づ煎つて摺鉢で摺り、之に砂糖と醬油を交せ、大根や人參を突きがんなで細く

十二

御ろして軟かにゆで、水を切つて此の胡麻醬油をかけて食ふとあつさりして居ます。料理の本などには胡麻よごしと云ふ事を能く書いて居ますが、東京では餘り流行らない樣です。但し私の胡麻よごしは、胡麻醬油をたつぷりにして、其中へ茹でた大根や玉菜、白菜、三ツ葉、其他のものを泳がせる位にして食ふのです。干枯びた樣な胡麻よごしは駄目です。

△果物の嘗め物

次は早く言へばジャムの半成品です。屑林檎の十錢も買つて皮と芯を去り八ツ位に切つて、水を澤山にして煮ます煮える頃には水が無くなりますから、夫へ砂糖を入れるのです。外に鹽氣は入れません。そして形が崩れる樣に攪き交せて焦げぬ程度に火を去るのです。つまり果物の嘗物です。口當り好く御飯の御菜に絕妙です。あんず、まるめろ、桃、桑の實、なんでも結構です。料理店の口取りに添へる干あんずの砂糖煮の樣に堅くてはいけません。口へ入れたら、ぞろ〳〵と崩れる樣に軟かく煮るのです。暑中でも腐らず、常用としてつくだ煮以上です。

（以下次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

田舍の臺所から

主婦の手帳

くれは子

□おはちと杓文字

おはちと云ふものは、まだ改良すべき點のあるものだらうと思ひます。伊豆地方の田舍でも、東京のやうなおはちは用ゐません。丁度盥の足の高い樣なものに、お釜の蓋の薄いのをした樣なものです。東京のおはちは、おはちの直徑がおはちの高さよりは短かうございますが、此の地方のおはちは直徑の方が高さよりは遙に長いのでございます。足の高さは三四寸もありますから、夏など御飯の腐敗する憂が少なうございます。又出雲地方では、夏のおはちは、竹で編んで作つたもので、目の細かい四角な笊に、竹のすだれの蓋をして、四本あしのおはち臺の上にのせます。これも伊豆地方のと同じく、おはちの底の部分を空氣がよく流通しますから、ご飯の腐敗する憂も少なうございます。冬は東京のおはちの方がご飯が冷えませんけれど、夏は伊豆風や出雲風のおはちの方がよろしうございます。御飯をつける杓文字は木と陶器とありますが、清潔を保つ上からは陶器の方がよいと思ひます。併し習慣上陶器の杓文字は御茶椀に御飯をつける時不快な響がするやうに思はれます。

□天井裏の物置

洪水の厄に度々逢ふ地方では、二階のない家は、家を作る時、或る部分の室の天井を低くしまして、その天井と屋根裏との間を、普通の天井に作られた他の室のなげしと天井との間から出入の出來るやうにしておきます。水の出た時は、そこに疊や建具をあげてしまひます。此れは出水地でない土地でも作つておいて、物置がはりにするのもよいことゝ思ひます。

今週の惣菜

櫻井ちか子

今の時節は一番何にも無い時です。野菜では慈姑位のものでせう。

△慈姑のきんとん 慈姑の皮を剝き、四つ切りにし、茹でゝ軟かくなつたら水を絞り、鹽と砂糖で味をつけて置きます。別に薩摩芋の皮をむき、三四時間鹽水に漬けて置いたものを、茹でゝ軟かになつた時、水をしたみ、裏漉しにかけて鍋に入れ、その中に砂糖と鹽少量を加へ、汁粉位に湯をさし、ごろ／＼にしたものを、十五分間位とろ火にてかき交ぜながら煮詰めて、その中に前記の慈姑を入れ、暫らく煮立てから一緒に平鉢に出し、急に扇ぎます。かうして冷ますと、きんさんの艶がよくなります。慈姑五錢薩摩芋二錢、砂糖五錢總計十二錢で、子供の喜ぶきんさんが五六人分位出來ます。

△小松菜の白和 小松菜を茹でゝ細かに刻み、よく絞つて、鰹節、醬油で普通のしたしのやうに味をつけて置きます。別に豆腐の水氣を絞り去つたものを擂鉢にてすり、鹽と砂糖でよく鹽梅して、菜を入れて交ぜるのです。

△獨活と若布の三杯酢 獨活の皮を剝き、短册に切り、水につけて置きます。若布はよく洗つて、固き所を割き取り、細かに刻み、少し水に漬けて置き、軟かくなつた時笊に上げ、水を切り、獨活も水を切つて、これを三杯酢につけます。三杯酢の作り方は前に揭げてあります。

△蒟蒻の田樂 蒟蒻を適宜に切り、茹でゝ熱い處を箸にてはさみ、乾いた布巾にて水を切り、皿に盛り、その上から普通の田樂味噌をかけて出します。

△田芹の胡麻和へ 田芹を茹でゝ一日位水に漬けて灰汁をぬき、堅く絞つて細かに刻み、擂り鉢の中にて胡麻を擂り、醬油と砂糖で鹽梅したもので和へるのです。

△慈姑の摘み入れ揚げ 慈姑の皮をむき、おろしで下ろしたものをよく煮立つた胡麻の油の中に匙にてすくひ込んで揚げるのです。上つた時に新聞紙の上にとり、一寸油氣を切つて醬油をつけて食べるか、一寸湯を通して油をぬき、吸物種子にしてもよいものです。冷えても味がよろしいので、お辨當に入れても結構です。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

靈草アスパラガスの報恩

新墨

太古希臘國の英雄シシャスと云ふ人が國内を武者修業しました時、一日パーネス山と云ふ淋しい山中に差掛りました。やがて山間の谷へ出ますと、せゝらぎ流るゝ小川に沿うて石造の家が一軒あり・家の前には奇麗な庭園が設けられて花盛りでした。然るに此家の主人と云ふのは大の惡黨で、旅人を殺してはお金を取るのです。處が英雄シシャスにかゝつては堪りません、一潰しに潰し殺されて了ひました。

然るに、此の惡漢には、一人の年頃な娘があり、父に似ぬ優しい氣立ての美しい女でした。娘は我が父親の殺されたのを見て仰天し、自分も取殺されはしまいかと思つてシシャスの手を遁れん爲めに庭園を其方此方と駈け廻りました。兎角する中、徑が盡きて今は遁るゝ場所もなくなり、茫然立つて居ますと、傍にあつた一莖の草があります。枝も葉もなく眞直ぐに裸かで立つた樣な草でしたが今娘が途方に呉れて居るのを見るより、急に枝を出し葉を繁らして娘をすつかり掩ひ隱して呉れました。此草こそはアスパラガスで、最初はうどの樣に葉もなく裸かな芽を長く出すのです、そして二三尺も伸びると、今度は枝や葉を出します。

娘は・アスパラガスが、日頃培養の恩を忘れず、靈異を現はして自分の危急を救うて呉れた事を深く感謝し、其後は一層大切に保護しました。後其種子が全世界に擴まり、今日では廣く賞味される樣になつたのです。

＊　＊　＊　＊　＊

つけたり

野菜の王

アスパラガス

□當節西洋料理では、大變氣取つたつもりで、アスパラガスの御馳走を出します。でも多くは、鑵詰めのごろ〳〵になつた代物で、腐つて居ないばかりの御馳走です、夫れを日本のハイカラさん達か、風雅なものでゞもある樣に、けゞんな顔して味はつて居らるゝのです。

□一體アスパラガスの新鮮なものは、野菜の王とも言はるゝので、東京では餘り見當りませんが、私に郷里に居つた時には、春から夏迄、毎日の樣に食用した經驗があり、野菜中第一等の風味ある事を感じました。私の郷里弘前地方には、明治十年頃、アスパラガスの種が輸入されたので、根が十年も古くなると指位の太さのが春先きから芽を出します。それはうどの一種とも見え、弘前地方では之を松葉うどと呼んで居ます。つまり成長して葉が繁ると、細かい松の葉に似て居るからです。

□日陰の雑草地に適するので、一尺ばかり伸びた時が食ひ頃です。新鮮なアスパラガスはゆでたのへ生醤油をかけて食ふのが一番結構です。ポリ〳〵脆く咬み嚙される齒ざはりの具合、其の特有な甘味芳香何とも言へません。我々が東京の西洋料理店で嚙かけるものとは全然別物の感があります。兎に角アスパラガスなるものは決して今日の東京の西洋料理に用ゐらるゝ樣な不愉快なごろ〳〵したものでなく、野菜類の王樣であると云ふ事を斷言して以て筆を擱いて置きます。（新墨）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳 ブラウニング夫人（上）

□

ブラウニングと云へば、ミセスですかミスターですかときゝかへねばならぬほどに夫妻相並んだ詩人である。どちらが勝れてどちらが劣つて居るか、なかなか判断はむづかしいと云ふ、之はご同じ道に相助け相勵ました夫妻は珍らしいものに違ひない。

夫人の名は始めエリサベス、バレツトと云つた。一八〇九年にロンドンの富家に生れた。幼時から聰明で八才の時に詩を作り、十七才の時「心の詩」といふ詩集を書いた。エリサベスは小さい時から讀書家であつた、社交はむしろ嫌な方で常に寸陰を惜んで古今の圖書を繙いた。

□

二十六才の時第二の詩集を公にした。彼女は美しい姿を持つて居た。大きな目と、濃い眉と、優しい微笑との所有者であつた。彼女の健康はあまり勝れて居なかつた。肺患を病んで英國の南岸に轉地療養をしたりした。轉地先きから歸つて來て、七年の間、エリサベスは暗い室に閉ぢ込もつて讀書と執筆に從事した。其友人が「殆んどあらゆる國語の讀むべき書は讀まざるはなし。作詩に熱心なるは生れながらの詩人である」といふ評をした。二十九才の時第三の詩集を出した。

□

三十五才の時にはその全集を出版した。其序文に

「詩は私に取つて私の生涯と同じく眞面目な事である。私の生涯は極めて眞面目であつた。詩に於ても生涯に於ても私に遊戯の分子は何にもなかつた。私は詩を作る事を決して娯樂とは考へない、また詩人の時間を安逸なものとは考へない。私は大事な働きとして詩を作つた。一人格から離れた手の業頭の業として作るのではない、全人格を打込んで之を最完全に表現しやうとするのである。眞劍の仕事として之を公けにした時、其失敗を感ずる事の深きは讀者の想像外である。

云々と云つて居る。

□

彼女の獨身生涯は卅八年間であつた。其間に次のやうな事を云つて居る。

「私は片田舍に育つて讀書と作詩に月日を費した。私の生涯は寂しい、私の命は讀書と夢想だけである」。

□

詩人ブラウニングは、エリサベスの詩を見て大に感心した。女子も詩を作る事が出來るといふ事實を始めて發見したさ云つた。そして感嘆せる女詩人に會見せん事を切望した。（梨子）

きみ

安中花子

此の魂君が生命と觸れし日もなほさりげなく笑みて別れき。

誰ぞ來り胸の大戸の扉せよ、君が歸らぬこの束の間に。

忘らるゝ身のいとしさか櫻咲く大路を行けど涙ながるゝ。

心よりきみをめでけり、めづればぞ笑ます装はず君に對へる。

僞らず飾らず我を投げ出して語りしあさの淡き寂しさ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（十六）

松本雲舟

歴訪の一

プラウチウスが豫想したやうに、ネロに拜謁を許されなかつた。皇帝は今琵琶師のテルプノスと歌の稽古をしてゐられる。これからいつもさういふ人達が御前に伺ふので、今後も皇帝に拜謁しやうとしても無駄であらうと語られた。

でも、セネカは熱病に苦しんでゐたが老將軍を鄭重に迎へた。その話を聽くと悲しさうな笑を洩らして、恁う言つた。

「プラウチウス殿、私は唯一つあなたに御用をつとめることが出來ます。それはあなたを氣の毒に想ふ心や、あなたに助力する私の志を皇帝に知らせることを約束しないことです。皇帝が聊かでもさういふ事を疑へば、私の願望に逆ふためだけにでも、決してリジヤをあなたに返へしませんからな」

セネカはチグリヌスやヴィニチウスやヴィテリウスの許へ往かぬやうに忠告した。この人達は賄賂を欲しがる位のものである。又ペトロニウスの勢力を轉覆へさうとしてゐるので、これに害を加へることを喜んでゐる人達である。それにリジヤがプラウチウスと其妻から澤山懸賞されてゐることを多分皇帝に話すであらう。さうすればネロは益々リジヤを返へすのを嫌うであらう。

尊ぶべき賢人は諷刺するやうに尚語を續けた。「プラウチウス殿、あなたは永年舌を緘んでゐられる。皇帝は默つてゐる者を御嫌いぢや。皇帝の善い御面、御聖德、御朗吟、馬車を驅りたまふ御姿、御詩作を見て、あなたはいかにも恍々となさらぬか。どうしてあなたはブリタニクスの死を喜ぶことを避けたのですか、それから又母殺しの名譽に讚辭を出し遲れたのですか。又オクタヴィアが窒息させ

十六

られた時に慶賀の意を致さなかつたですか。プラウチウス殿、あなたはこの御殿に勤むる私共の持つてゐる先見の明をお持ちにならぬのですな」

セネカは帶に携へた洋盃を取つて、噴水の水を滿して、口を濕してから、恁う附言した。「あゝネロは滿足して居られます。あなたは羅馬のために力を盡し、地球の隅々に皇帝の御名を輝かしたので、あなたを愛して居られる。それから又私は皇帝の若い時に教育の任に當つたので、私を愛して居られます。それ故この水は毒が入つては居りませんから、心靜かに飮むことが出來ます。酒は稍もすれば有毒な事がありますが、この水なら心配なく渇を癒しなさることが出來ます。アルバン山の向ふの水道から來るのですから、若しこの水に毒が入つてゐれば、羅馬の噴水は皆有毒です。かういふ世の中でも、晩年を平和に樂しく送ることが出來るのは妙ですな。私は病氣です—身體よりも心の病です」

セネカがコルヌタスやトラセヤのやうに心の勇氣を持たぬことは事實であつた。その一生は罪に溺れ、又罪を默許す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ることに依つて費された。セネカは自身さう感じた。彼はキチウムのチエノーの教理に執着してゐた。人生の他の行路を選べばよかつたと思つてゐる。それ故死を怖れる以上に、一生を誤つたことを苦にしてゐる。

ブラウチウスはセネカの言ひわけを遮切つて「セネカ殿、皇帝を御敎育申上げたあなたに對してどんな御報酬をなさいましたか、それは私も存じてゐます。ですが、私の子供はペトロニウスの入智慧で取上げられましたのです。どうぞペトロニウスを説きつける方法をお敎へ下さい。どうしたらペトロニウスに承知さすことが出來ませう。あなたはペトロニウスと古い御友達ですから、一つ御雄辯を振つて下さいませんか」

「ペトロニウスと私は」とセネカは答へた。「全く違つた陣屋に屬します。あの男を宥める方法を私は全く存じません。誰もあの男を説きつける勢力を持たぬでせうよ。性が腐つてゐても、現在ネロの周圍に居る者共よりも餘程善い男ですからな。でも、あの男が惡い事をしたといふのを承知させやうとするのは、徒らに閑をつぶすだけですからな。ペトロニウスは久しいこと善惡を見分ける能力を失つてゐます。唯善い趣味を犯するやうな事をしたと申せば、耻入るでせう。今度過つたら、その行爲は開放奴隷のやりさうな事だと言つてやりませう。善くないと言つても無駄ですから」

「どうも有難うございました」と老將軍は答へた。

それからブラウチウスはヴイニチウスの家へゆくやうに轎の者に命じた。ヴイニチウスは抱への師匠と擊劍をやつてゐる所であつた。ブラウチウスはこの若者がリジャを奪ひ取つた後で、靜かに力技なぞやつてゐるのを見て、氣がむら〳〵した。擊劍の師匠が去るのを待ち兼ねて怒れる聲をあらげて鋭くヴイニチウスを詰責した。するとヴイニチウスはリジャが運び去られたと聽いて、蒼くなつたので、ブラウチウスはその共犯者であるとを疑ふことが出來なくなつた。若者の額は冷汗に濕つた。血は心臟に浪立つて、熱した波のやうに面へ逆上つた。眼は閃いた。唇は問ねたげにむく〳〵と動いた。嫉妬と憤怒は暴風のやうに捲き上つた。リジャが皇帝の御殿に上つたと聽いて、直ぐ自分から失はれたことを悟つた。けれどもブラウチウスがペトロニウスの名を口にしたので、稻妻のやうに早く若者の心にはペトロニウスに欺されたといふ疑ひが閃めいた。ネロにリジャを献上して新らしい恩寵をえやうとしたか、それともペトロニウス自身リジャを取らうとするのだ。ヴイニチウスは他の人がリジャを見たり、又リジャに迷つたりするのを許すとは出來なかつた。ヴイニウチウス家の者は皆性急だが、彼は怒の發作に滅茶苦茶になつて、荒狂ふ馬のやうになつた。

「將軍」と破れた聲で「家に行つて「私を待つてゐて下さい。ペトロニウスが私の親父であつても、リジャに對する此の無禮を復讐しますから。家へ行つて待つてゐて下さい。ペトロニウスにも皇帝にもリジャをやるものか」。

十七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉兩陛下御還幸啓　奈良行在所に御駐泊中なりし　天皇皇后兩陛下には四日正倉院及び帝室博物館に御幸啓あらせられ、天皇陛下には五日名古屋に聖駕を還へさせ給ひ、熱田神宮御參拜の御事あり、六日名古屋御發同日午後五時東京驛着御還幸あらせられたり。天皇陛下の御發車を御見送り申上げ給へる　皇后陛下は五日午後京都に赴かせられ紫宸殿に成らせられ、六日は桃山兩御陵並に泉山近帝御陵に御參拜、七日は上下兩賀茂神社御參詣あり嵐山なる東本願寺別邸對嵐房に於て落ち合はせ給へる皇太子殿下と御對顔種々御物語りあり、八日は山田町男山八幡宮に御參拜、九日御歸東の途に上らせられ名古屋熱田神宮御參拜離宮に御一泊、こゝに十餘日に亘る御忙しき御旅路を終らせられ、十一日午後五時御還啓あらせられたり。

◉支那の形勢　廣東省は六日夜に至り獨立を宣言したり、之れ革命軍の大いなる成功にして、袁世凱の驚愕一方ならず、遂に七日總統府會議の結果南方の要求を總て容るゝに決し廣東將軍龍濟光氏宛て長文の電報發せられたりと。湖南省また近く獨立せんと傳へらる。大局は益々袁氏に不利なり。

◉スミス氏の宙返り飛行　鳥人とまで云はるゝ米國飛行家アート、スミス氏(二三)は、豫定の通り八、九、十の三日間青山に於て宙返り飛行を爲したり。第一日は天氣晴朗、午後二時スミス氏は黃煙を吐きつゝ九回の宙返り飛行を爲し螺旋狀降下を演じ、十餘萬の觀衆と遠望せる東京市民とをして思はず拍手喝采せしめ、第二日も午後二時千三百米突の高空より宙返り七回横轉五回、百五十米突の低空に於て大膽にも二回の宙返りを演じ、午後四時再び機上の人となりTOKIOの五文字を空中に描いて雷の如き喝采を博せり。而して第三日の十日は三十二米突の烈風にて陸軍の卒業飛行中止されたる程なるが、スミス氏は敢然として飛行し滿都の人、汗を握りて見物せる中を、逆轉三回、螺旋狀降下を行ひ四百米突の空にて再び二回の逆轉を行ひ決死下降にて青山原頭に着陸すれば、見るもの何れも感奮して其神技を稱へ合へり。かくの如き烈風中の宙返り飛行は實に世界的新記錄とも稱すべきものなりと。ス氏の飛行は實に吾が飛行家に發奮の機會を與へたるものなり。

◉陸軍飛行將校第四期卒業飛行　は八日其第一日を行ひ曾根小澤の二中尉所澤靜岡間を無事往復し長尾中尉の歸航は發動機故障の爲め中止され、九日第二日には木下中尉小島少尉の往復飛成功、長尾中尉の歸航も無事行はれたり。十日の第三日は天候不良の爲め中止さる。

◉東久邇宮妃御着帶　御姙娠中なる東久邇宮妃聰子內親王殿下には、翌五月御分娩の御豫定に付、來る十八日(戊の日)午前十時麻布離宮に於て、御着帶の式を擧げさせらるゝ筈なり。

◉白耳義女丈夫の死刑　獨逸軍法會議はベルクユーム婦人プテー孃に對し叛逆罪の廉を以て死刑を執行せり。

◉名譽の看護婦　日獨戰に出征し、凱旋後病死したる看護婦進士さい女に對し、一時金六十圓御下賜ありたり。

◉女學校設置認可　文部省は八日の官報を以て左記四高等女學校の設置及名稱變更認可の件を告示したり。

一、東京市府下南葛飾郡立實科高等女學校を同郡龜戶町に設置し本年四月より開校

一、福岡縣遠賀郡八幡町立實科高等女學校を八幡町に設置し本月四日より開校

一、愛知縣南設樂郡新城町に設置せる新城町立實科高等女學校を本年四月より新城高等女學校と變更

一、富山縣東礪波郡出町に同町立技藝學校を設置し本年四月より開校

◉教員養成委託生　第六臨時教員養成所に於ける大正五年度家事科委託生として入學すべき學校及人員左の如し。

△京都府立第一高等女學校十五名△東京裁縫女學校十五名△共立女子職業學校十五名△和洋裁縫女學校九名

◉茗溪會の少年書類採擇　東京高等師範學校內茗溪會少年書類調査會は本月四日開會左記十四種を少年讀物として有効なるものと認定せられたり。

小波著、日と耳と口。涙香譯、野の花。野口米次郎著、歐洲文壇印象記。小原要造、外一人共著、人としての道。小波著、御伽口演集。田中次郎著、通俗郵便物語。建部博士著、都會生活と村落生活。大隈伯口述、國體の精髓。武田仰天子著、明智光秀。杉谷虎藏譯、アラビヤンナイト上下二册。櫻井忠溫著、十字語。瓜生著、發明家と發明界の進步。宮崎著、熱血團。相馬御風著、還元錄。

◉婦人矯風會大會　基督教婦人矯風會にては去る四月四日より六日に至る三日間、横濱なる共立女子神學校講堂に於て第廿四回大會を開催せり。

◉日本少年寮　小石川雜司ヶ谷百十五番地の同寮は、奥宮加壽子刀自を寮母とし、幼年、少年、青年を預り、最も親切に監督指導の任に當りて、家庭的生活を營ましむる由、委細は規則書にあり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●櫻家庭寮　久留島武彦氏を顧問とし、栗屋榮子刀自の祖母たる同寮は、府下千駄ヶ谷九百三番地に居を移へ、極めて家庭的に其家の子弟を預る由。寮費は食料共十二圓。

個人消息

△前田轍子（伯爵次女）今回山縣公令孫辰吉氏と結婚せられたるに付、來る廿一日午後五時より築地精養軒に於て披露の宴を催さるべしと。

△大築茂登子（故陸軍中將大築尙志氏未亡人）宿痾の狹心症に罹り療養中の處七日午後七時四十分心臟麻痺を併發して逝けり。享年七十二。

逝去帳

▲前日本銀行總裁、貴族院議員男爵松尾臣善（七十四歲）四月七日、扁桃線炎　▲前警視廳捜査係長、早稻田警察署長警視屋加直道、四月十日、頸部腫物。

編輯室より

▲過る八日、九日、十日の青山原頭に於けるスミス氏の快飛行は編輯室の露台から、眞南に鮮やかに見られました。虛空遙かに飛び上り、黑一點と見る間に、悠々と螺旋狀の宙返りを打つゝ中空に降り、忽ち木の葉のとうノへと落つるやうに下降して、心膽を寒からしむる妙技を演じました。▲殊に十日の烈風には鳥さへも運ぶ翼の力なく見ゆる中にきのふの輕快さは無くとも、空高く上りなほ幾度か宙返りを打つたその壯絕な擧に、自ら涙の禁ずる能はざるものがありました。六尺の人間が大空を支配する力を現實に見せてくれたス氏に感謝致します。▲こゝ暫らくは全くの花の都となります。街行く人の花の噂は、山の手の閑靜な此處にも聞えて來ました。

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表	
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）	
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢	△半年
△三ヶ月（十三部）金六拾錢	△一年金貳圓廿錢
（廿六部）金壹圓拾錢	

廣告料	
△特等 表紙の二、四	金參拾圓
△壹等 表紙の三、白紙前付	金廿五圓
△貳等 ニ記の表側	金廿貳圓
△參等 （色紙の表側）	金貳拾貳圓

注意
▲注文は一切前金の事▲三ヶ月、半ヶ年、一ヶ年購讀の事▲送金の際姓名を明記の上東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座に東京三一六六〇番▲郵券發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子　東京市京橋區銀座四丁目一番地

印刷所　東京支店　福音印刷合資會社

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社　振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番

人事相談所

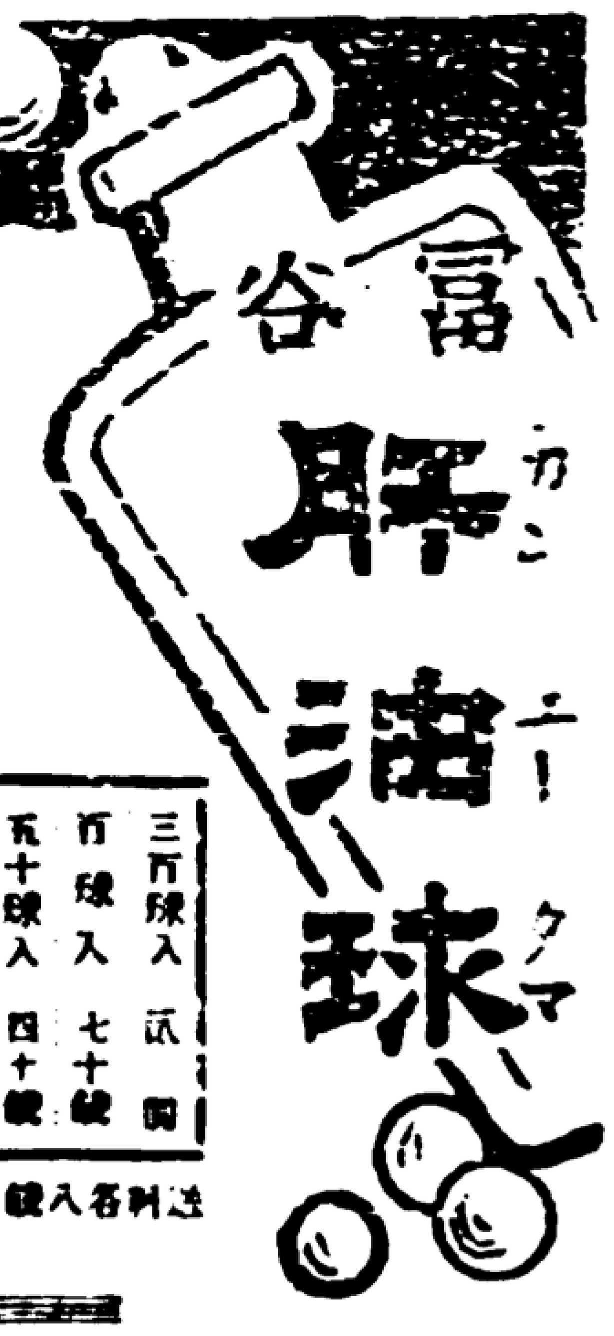
□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

●肝油服用者之福音●



三百球入 貳圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各入錢

最新式の軟質膠球劑絕對に臭氣もなく美味に飮めるは此肝油球である

諸大醫の賞讃
肝油球の特効
身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艷のなき人
油氣の少ない人

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番

體力精力增進に今が肝油服用時期

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり。ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地
英語專門私立　櫻井女塾
電話下谷六八一五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　**高田畊安**
電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同様になります
和洋服**外套インバネス**・東コート・**セル・ショール半襟毛皮**等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル　御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際　電話新橋三一〇八

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　**吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

齒科
ドクトル　**富田貞一**
日本橋區高砂町六
電話浪花五四〇五
（久松町停留場より西一丁）

殺菌と血止めに便利なる
毒消し筆
一本金拾錢　送料金貳錢
●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其塲所を殺菌す
●携帯至便●使用簡便●殆んど永久に用ひられる●是非一本を試みあれ
（注意）参錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す
發賣元　小石川區高田老松町十七　振替東京三一六九二　**目白薬局**

●**書籍**送費無料**取次販賣**
新本何でも送金次第直に送附（振替四四九六）
神田表神保町十　書肆　**興樂房**

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫　**井出茂代**
電話番町三六七七番

麹町區飯田町一ノ七
九段坂下停留塲傍
家庭的改良下宿
機山館

産婆看護婦志願者募集
産婆六ヶ月卒業看護婦五ヶ月卒業規則書要貳錢
東京神田小川町
中央**産婆看護婦**通信**學校**

◎生徒募集家族的寄宿の便あり
個人教授**裁縫技藝**
●編物●袋物●刺繍●壘細工●造花●摘細工●縫細工●綿細工●儀式用折紙●水引結方入所時間科目隨意
麹町區富士見町五ノ二
大妻技藝傳習所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●手紙文などの下手に悩める…御婦人方は

●日記文などの上手にかけぬ…御婦人方は

●和歌俳句の早わかりしたき…御婦人方は

●文章を以て身を立てんとする…御婦人方は

→東京市神田區錦町三丁目帝國文章學會へ「ハガキ」にて御申越あれ。

本會は短期速成に婦人日用文其他の實用的文章や和歌俳句が上手になる最良の講義錄見本を進呈します。

●呉服物なんでも

△問屋より直接取次故必廉價△市内は御報知次第持參地方は御年頃と品物とお知らせ頂き御送附致します

左記に移居致しました相變らずお引立を願ひます

東京下谷區仲徒士町一ノ五五

齋藤ふく子

PHOTOGRAPH

寫眞

出寫ハ遠近ヲ問ハズ出張可仕候

小石川區高田豐川町三番地

日本女子大學校脇

南谷寫眞館

腦神經精神病

院長 ドクトル メヂチーネ 齋藤紀一

青山腦病院 東京赤坂 (帝國腦病院改)

電話芝二七四五・二六六五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料 御園白粉

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして専ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乘りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
粉おしろい 御園の花
御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
淡化粧下 御園の蕾
洋式化粧下 御園クレーム
高等香水 御園香精
化粧香水 御園の橘
高等香水油 御園香油
高等はみがき 御園歯磨

製造本舖 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA